

Press Release

2026 年 7 月 31 日



横浜美術館  
YOKOHAMA  
MUSEUM OF ART

# マリー・アントワネット・スタイル

2026 年 8 月 1 日（土）～11 月 23 日（月・祝）

彼女が刺激的なわけ。

マリー・アントワネット・スタイル



Marie Antoinette Style Created by the V&A - touring the world

V&A

2026  
8/1<sub>土</sub>  
-11/23<sub>月・祝</sub>

横浜美術館  
YOKOHAMA  
MUSEUM OF ART

コートドレスのマリー・アントワネット  
フランソワ・エペール・ド・ル・エ (画) 1773年 油絵、キャンバス 63.5×52.0cm  
ヴィクトリア&アルバート博物館蔵 © Victoria and Albert Museum, London  
Monogram: Credit Kellenberger-White

みなとが、ひらく  
THE PORT IS OPEN

## 概要

2026 年 8 月より、横浜美術館において「マリー・アントワネット・スタイル」展を開催します。

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット（1755-1793）。時代の「ファッション・アイコン」となった王妃の装いやインテリアは、18 世紀から現代まで、ファッションやデザイン、映画などに広く影響を与えてきました。本展は、マリー・アントワネット時代のドレスや宝飾、家具などを手がかりに、あらゆる点で新しい<sup>スタイル</sup>様式をうちたてていった王妃の革新性と、その人物像に迫ります。さらに、王妃が形づくった「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人びとを魅了し、今日のクリエイターたちにも示唆を与え続けているかについて紹介します。

本展はロンドンのヴィクトリア＆アルバート博物館が企画し、2026 年 3 月まで同館で開催されました。英国の研究者による最新の調査に基づきマリー・アントワネットを再検証した試みとして、国内外で多大な注目を集めました。国際巡回の最初の開催地となる横浜では、映像やサウンドスケープなどの演出を踏襲しつつ、一部内容を再編、さらに日本独自の出品作を加えた約 200 点で展示を構成します。18 世紀フランス宮廷の最高級の手仕事から、現代の名だたるメゾンやデザイナーの創造にまで引き継がれるマリー・アントワネットのスピリットをお楽しみいただき、新しい王妃像を見出していただけましたら幸いです。



ローブ・ア・ラ・フランセーズ  
フランス製 1760 年代（1770 年代に加工） 絹、光沢をつけた麻  
ヴィクトリア＆アルバート博物館蔵  
© Victoria and Albert Museum, London

## みどころ

### 1. 時代を超えて人びとを魅了し続ける王妃の「スタイル」を紹介

ドレス、ジュエリー、家具調度品、絵画や版画、写真など、約 200 点で構成。18 世紀後半の歴史的なファッションから 2025 年のオートクチュールまで、250 年にわたる展開をたどります。



ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）の展示風景  
© Victoria and Albert Museum, London

### 2. ヴィクトリア&アルバート博物館（V&A）が企画した世界巡回展、日本で唯一の開催

贅沢なだけじゃない！ ロンドンにある世界有数の博物館 V&A が、史上もっともファッションナブルなフランスの王妃マリー・アントワネットを再評価。国際的にも注目を集めている画期的な展覧会です。



マリー・アントワネットの肘かけ椅子（4 点組の 1 点）  
ジャン=バティスト=クロード・スネ 1788 年  
クルミ、綿布に絹の刺繍（近年の上張り） 97.5×63.5×63 cm  
ヴィクトリア&アルバート博物館蔵  
© Victoria and Albert Museum, London



### 3. 歴史的、文学的にも貴重な品が集結。日本初公開作品も！

「首飾り事件」のネックレスの一部と伝わるダイヤモンドなど、マリー・アントワネット旧蔵品やゆかりの品（10 点あまり）をはじめ、小説、演劇、映画などに描かれてきた 18 世紀当時の品々も多数展示。王妃の処刑に用いられたとされるギロチンのほか、ヨーロッパの歴史を転換させたフランス革命の空気も、小コーナーで紹介します。



通称「サザーランド・ダイヤモンド」  
オリジナルのネックレス：フランス製  
1780 年代に加工  
プラチナ、ダイヤモンド、金、銀 長さ 35.8 cm、8 cm、8.1 cm  
ヴィクトリア＆アルバート博物館蔵  
© Victoria and Albert Museum, London

### 4. 国内の関連作品を加えた日本オリジナルの展示

アジア巡回のためにロンドンでの展示から出品内容を再編成。さらに、国内で所蔵されている優品約 20 点も展示します。



皇后ウジェニー  
ピエール＝ポール・アモン 1850 年代  
油彩、カンヴァス 132×100 cm  
東京富士美術館蔵  
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

## 関連イベント

### 1. 講演会

「時代を超えるインフルエンサー、マリー・アントワネット：18世紀フランス宮廷衣装から現代モードまで」

日時：2026年10月3日（土）14:00-15:30（開場 13:30）

（参加費無料、要事前申込・先着順）

申込締切：10月2日（金）

講師：筒井 直子（京都服飾文化研究財団〈KCI〉キュレーター）

詳細は、横浜美術館公式ウェブサイトよりお知らせします。

### 2. 体験型ワークショップ

「ドレスの構造から紐解くマリー・アントワネット・スタイル」

日時：2026年10月18日（日）① 10:30-12:30 ② 14:00-16:00

（参加費 各回3,500円、要事前申込・抽選）

申込締切：9月28日（月）

講師：長谷川 彰良（衣服標本家）

イベント詳細：[https://yokohama.art.museum/event/20261018\\_shiato\\_dress/](https://yokohama.art.museum/event/20261018_shiato_dress/)

18世紀、ドレスは単なる衣服から芸術へと昇華されました。本プログラムでは、マリー・アントワネット時代の正式な宮廷服「ローブ・ア・ラ・フランセーズ」と、19世紀の美の極致「クリノリンドレス」を徹底解剖。実物のドレスを用いて、独創的な内部構造とテキスタイルの秘密を解き明かします。後半には、当時の本物のドレスに触れる特別な時間も。歴史の表舞台を彩ったドレスの裏側へ潜り込んでみませんか。



1760年代ローブ・ア・ラ・フランセーズ  
長谷川彰良『あたらしい近代服飾史の教科書』（翔泳社）  
撮影：安井真喜子

### 3. 参加型ワークショップ

「わたしたちのマリー・アントワネット・スタイル みて、選んで、話して —現代の視点でつくる王妃像」

日時：2026年11月8日（日）11：00-15：00 ※昼休憩1時間含む

（参加費4,000円、要事前申込・抽選）

申込締切：10月19日（月）

講師：小林 亜起子（美術史家）

イベント詳細：[https://yokohama.art.museum/event/20261108\\_shiato\\_ourmas/](https://yokohama.art.museum/event/20261108_shiato_ourmas/)

知るほどに、見え方が変わる。話すほどに、王妃像が広がる。「みて・選んで・話して」、みんなで“マリー・アントワネット”について語り合う、参加型ワークショップです。まずはワークシートを手に展覧会を鑑賞。あなたが感じる王妃の「魅力」や「不思議」を探してみましょう。後半のグループワークでは、それぞれの発見をシェア！時を超えて私たちが惹きつける新たなマリー・アントワネット像を一緒に作り上げてみませんか？



#### 開催概要

#### マリー・アントワネット・スタイル

|      |                                            |
|------|--------------------------------------------|
| 会場   | 横浜美術館（神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1）                |
| 会期   | 2026年8月1日（土）～11月23日（月・祝）                   |
| 開館時間 | 10:00～18:00（11月21日・22日は20時まで）※入館は閉館の30分前まで |
| 休館日  | 木曜日（8月13日、9月24日、11月19日は開館）                 |
| 主催   | 横浜美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館、読売新聞社、日本テレビ放送網       |
| 特別協賛 | キヤノン                                       |
| 協賛   | DNP 大日本印刷                                  |
| 後援   | ブリティッシュ・カウンシル                              |
| 協力   | 日本航空、ヤマト運輸、みなとみらい線                         |

展覧会公式サイト <https://www.marie2026.jp>  
公式 X・Instagram @mariestyle2026  
お問合せ 050-5541-8600（ハローダイヤル）

## 観覧料

|        |         |
|--------|---------|
| 一 般    | 2,500 円 |
| 大 学 生  | 1,600 円 |
| 中学・高校生 | 1,000 円 |
| 小学生以下  | 無料      |

※すべて税込料金。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料（ミライロ ID 可）。

※学生・生徒の方は当日会場で学生証・生徒手帳等をご提示ください。

※9月3日（木）は大学生のための無料観覧日「キャノン・ミュージアム・キャンパス」（申込不要、学生証をご持参ください）。「大学生」は大学院生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校4・5年生を含みます。観覧時間など詳細は、展覧会公式サイト等でお知らせします。

※同時開催の横浜美術館コレクション展「海をこえてゆく彼女」も、11月23日（月・祝）まで本展のチケットで観覧当日に限りご入場いただけます。

※会期中、一部作品の展示替えを行います。

※チケット情報の詳細は、展覧会公式サイトをご確認ください。

横浜美術館 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1

TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <https://yokohama.art.museum>

お問合せ先 横浜美術館 広報担当（岩見屋、志谷）

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1

TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317 Email: [pr-yma@yaf.or.jp](mailto:pr-yma@yaf.or.jp)